

(参考) 日本版N V Qについて

(参考) 日本版NVQについて

※ NVQ (National Vocational Qualification)

- 日本版NVQは、雇用戦略対話における内閣総理大臣の指示に基づき、緊急雇用対策本部の「実践キャリア・アップ戦略推進チーム」による「実践キャリア・アップ戦略」構想骨子案の中で検討されている。

平成22年5月25日「実践キャリア・アップ戦略推進チーム」 第1回会合資料「実践キャリア・アップ戦略」構想骨子案より抜粋

＜基本的考え方＞「肩書社会」から「キャリア社会」へ

- 新たな成長分野をはじめとして実践的な職業能力育成(キャリア・アップ)が急務となっている一方で、若者や非正規労働者など能力育成の機会に恵まれない人々の増大や、企業の人材育成機能の低下が指摘されている。
- このため、少子高齢化という制約要因を跳ね返し、新たな経済成長を支える「人づくり」を推進する観点から、職業能力評価と教育・能力開発を結び付け一層の体系化を図った上で、一企業内にとどまらず社会全体で実践的なキャリア・アップを図る戦略プロジェクトを推進する。

<主な取組>

1. 「実践キャリア・アップ制度」の導入・普及

(1) 「5か年目標」の策定

新たな成長分野や「人づくり」の効果が高い分野などを中心に、実践的力育成・評価を推進する「実践キャリア・アップ制度」の導入・普及の「5か年目標」を策定する。

<「5か年目標」の骨子>

① 戦略分野の選定

- ・ 5年間で制度導入を想定している分野を選定

※想定している分野

- ・ 新成長分野＝「介護」「保育」「農林水産」「環境・エネルギー」「観光」など
- ・ 「人づくり」の効果や、外部労働市場における活用可能性が高い分野＝一般事務、医療・貿易事務、ホスピタリティ・サービス等

② 職業能力評価制度(『キャリア段位』制度)の導入(「日本版NVQ」の創設)

- ・ 実践的な職業能力を明確化し、教育・能力開発と結び付け、能力を客観的に評価する『キャリア段位』制度を導入
 - ・ 産官学労で議論し、制度の基本方針をまとめる。
 - ・ 制度構築に当たっては、ジョブ・カード制度など既存の職業能力評価、資格、訓練カリキュラムなどのツールを有効に活用
 - ・ 教育・能力開発の成果、資格、職歴等を記載し、職業能力を証明するツールとして、ジョブ・カードの利用促進を図る。
 - ・ 一企業にとどまらない制度とするためには、業界団体、教育機関などの連携・協力が不可欠。

(以下、省略)